

## 大学におけるオンライン講義の実際について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-04-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 太田, 諭之 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00028131">https://doi.org/10.14945/00028131</a>

# 大学におけるオンライン講義の実際について

太田 諭之

静岡大学技術部情報部門

## 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により、対面授業が困難となっている（2020年5月29日現在）。このため大学の講義においては、オンライン講義やオンデマンド講義が実施されている。

今回、技術研修では「オンライン講義」について、概要の説明を行い、実際に準備から配信までを参加者の方に体験していただき、画面共有から、課題の取り組みから提出までオンライン会議システム Zoom と静岡大学の工学部で主に使用している学習管理システム（Learning Management System; LMS. Moodle というシステムを使用） LecShizu について課題やアンケートの作成、提出について実際に操作して頂いた。

大学講義のオンライン講義では生配信で行い、学生はその時間に全員その講義に出席している必要がある。後から動画を参照することができる「オンデマンド講義」とは異なる。オンラインで講義を閲覧する人に配慮したカメラ・マイクセッティング（カメラ、マイクの品質にも左右される）、画面共有、パソコン画面から閲覧がし易い資料の作成が重要である。Zoom の使用にあたっては、セキュリティに考慮し、参加者は、Meeting ID と入室パスワードを使用した。

## 2. 研修内容

研修の内容については、次のとおりである。「オンライン講義についての概要」、「オンライン講義の準備—閲覧する人に配慮したカメラ（多人数の場合はカメラオフなど）・マイクセッティング（ハウリング防止など）・画面共有について」、「実際に参加者とオンラインで接続」、「オンライン授業の一例をスライドの画面共有にて説明」を行った。研修前にあらかじめ参加者の方に下記をお聞きした。「オンライン（リアルタイム）」のメリット・デメリットについて、「オンライン（オンデマンド）」のメリット・デメリットについて、「今後、大学講義においてオンライン講義を行っていく際に注意する点を挙げてください」、「業務内において、オンライン講義ソフト Zoom であなたは何を行っていきたいですか？（交流会、学生実験のオンライン化など）」

## 3. 研修後アンケート結果

「Web 会議の円滑な実施に向けて、PC 性能のみならず、モニターやマイク・イヤホン・個室の用意など周辺環境の整備の重要性を感じた」、「オンラインで行われる授業の実際や手ごたえについて知ることができありがたかった」、「LecShizu や、現在使っている ZOOM やチームスも便利な機能がたくさんあります。そういったもののほんの一部しか使いこなせていないと感じています。」

「皆様の支援先ではオンライン講義は適していると思いますか？」については、参加者4名全員が「あまり適していない」と回答した。

理由として、「フィールドで五体と五感を通して学ぶことが重要、実際に「もの」をつくるのが難しいため、実体験が伴わない実習の理解には限界があると感じる。」

研修終了後、アンケートを実施した。一部を抜粋する。「Web 会議の円滑な実施に向けて、PC 性能のみならず、モニターやマイク・イヤホン・個室の用意など周辺環境の整備の重要性を感じた」、「オンラインで行われる授業の実際や手ごたえについて知ることができありがたかった」、「LecShizu を初めて使うことが出来た」。参加者の方とオンライン教育について有益な議論をすることができた。

## 4. まとめ

また Moodle という LMS (Learning Management System ; 学習管理)システム（静大内で“LecShizu”という

名称で使用) を講義の出席や課題提出・小テスト機能により問題を作成することができた。問題タイプには多肢選択式、記述式(英文では大文字・小文字の区別も可能、あらかじめ正解の文章を登録しておく)などがある。実施した小テスト結果を一覧形式で表示可能、また Excel 形式で残すことができる。

オンライン会議システムは Zoom の他、Microsoft Teams や Skype などがあり、それぞれ録画機能、最大接続数(有償版・無償版により異なる)が異なる。

ホストは使用している PC のほか、Apple iPad で Zoom にログインして相手に映っている画像や画面共有の確認をすることができる。「画面表示」では、ホストが画面共有していない際に、視聴者が Zoom の画面から切り替えたい場合には、Alt+Tab で画面を切り替えることができる。



図 1 : 本研修の様子 (Zoom 画面) <sup>1</sup>

## 5. 謝辞

本研修にご参加いただきました、情報部門 戎 俊男様、教育研究第二部門 柿添 崇文様、教育研究第一部門 中本 順子様、フィールド部門 成瀬 博規様、(五十音順) より様々なご示唆を頂きました。感謝申し上げます。

## 参考文献

- [1] 朝日新聞 EduA(2020年5月24日号), 「【特集】オンラインが教育を変える」, 2020.
- [2] オンライン授業・Web 会議 ポータルサイト@ 東京大学 教員のための、オンライン授業を行うにあたって <[https://utelecon.github.io/faculty\\_members/](https://utelecon.github.io/faculty_members/)> (2020/9/14 データ取得)
- [3] 先端教育機構出版部, 「月刊 先端教育 (2020年6月号) -緊急特集 オンライン教育 方法・サポート・制度」, 2020.
- [4] 福村 裕史・飯箸 泰宏・後藤 顕一, 「すぐにできる! 双方向オンライン授業」, 化学同人, 2020.
- [5] 「本当に強い大学 2020」, 週刊東洋経済, 2020.
- [6] Zoom homepage, Zoom Video Communications, Inc., <<https://zoom.us/>>.

<sup>1</sup> 研修参加者より画像の掲載許可を頂いております。